

【目次】

1. 企画展「コンドルと惟一館、山口文象と青雲荘」展がスタート、3月10日！
2. 一般財団法人日本労働会館の平成25年度第4回理事会を開催、3月18日！

1. 企画展「コンドルと惟一館、山口文象と青雲荘」がスタート、3月10日！



友愛会館の前身は、明治27(1894)年のユニテリアン教会・惟一館であり、また昭和11(1936)年の青雲荘アパート・友愛病院。そして2014年は惟一館が東京・芝の地に建設されて120年、青雲荘・友愛病院が建設されて78年になります。

これを記念し3月10日(月)から企画展「ジョサイア・コンドルと惟一館、山口文象と青雲荘」(2014.03.10~2014.08.30)がスタートしました。

この企画展では昭和11年から昭和20年までの9年間、外国人建築家(コンドル)の和風クラシック建築と日本人建築家(山口文象)の洋風モダン建築が並び立っていた「特異な風景」(左写真参照)をイメージしていただきます。



また、その和風クラシックデザインから「特異な建物」「和洋折衷でミョウチクリン」と評された惟一館に、建築家ジョサイア・コンドルと発注者クレイ・マッコレーイ(ユニテリアン教会牧師)がどのようなメッセージを込めたのか、を読み解っていただきます。

さらに昭和11(1936)年、労働組合による日本で最初のアパート、病院として青雲荘・友愛病院(設計:山口文象)が建設されます。この青雲荘・友愛病院に、建築家山口文象と発注者松岡駒吉がどのようなメッセージを込めたのか、を読み解っていただきます。

最後に重田喜孝氏の水彩画やミニ木版画「港区・芝界限10景」により、惟一館から友愛会館への120年の変遷と、明治・大正・昭和の芝周辺風景を楽しんでいただきます

2 一般財団法人日本労働会館の平成25年度第4回理事会を開催、3月18日！

一般財団法人日本労働会館(服部光朗理事長)は3月18日午後、友愛労働歴史館研修室において平成25年度第4回理事会を開催しました。理事会では①友愛労働歴史館、②労使関係研究協会、③ホテル三田会館、それぞれの平成25年度事業報告を受け、確認しました。また、平成26年度の事業活動(案)についてそれぞれ提案を受け、何れも提案通りに確認しました。